

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	相談援助	教員氏名	横川剛毅
学年	2年	開講学期	前期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士幼免必修		
テーマ	保育者に必要な相談援助の基礎的知識、技術の習得		
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	
授業の概要	教育、保育における相談について、その基本となる理論と方法及び心構えを学ぶ。 また、幼児や支援を必要とする家庭を理解するために必要な技術を学ぶ。 そして、相談事例の検討を通して実践的に学ぶ。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育者として必要な、教育、保育における相談援助の知識を習得できる ② 保育者、支援者に求められるコミュニケーション技術を身に着けることができる ③ 事例検討と発表を通して、教育、保育における相談援助の実践力を体得できる 		
テキスト	前田敏雄 監修 佐藤伸隆 中西遍彦 編 『演習・保育と相談援助』第2版 みらい		
参考書	なし		
	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	授業内でワークシートを提示する		
課題の確認と成績評価方法	学習到達度50%、発表課題25%、授業に臨む姿勢25%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション 保育・幼児教育と相談援助
	授業外指示	プリントを再読して復習する
第2回	テーマ 内容	保育・幼児教育における相談の基本
	授業外指示	プリントとテキスト第1章を再読し、復習する
第3回	テーマ 内容	観察に基づく幼児及び要支援家庭の理解
	授業外指示	プリントとテキスト第2章を再読し、復習する
第4回	テーマ 内容	幼児理解に向けた活動の実践
	授業外指示	プリントを再読し、復習する
第5回	テーマ 内容	幼児理解に向けた活動の振り返り
	授業外指示	プリントとテキスト第5章を再読し、復習する
第6回	テーマ 内容	専門的信頼関係を形成するためのコミュニケーション技法
	授業外指示	プリントを再読し、復習する
第7回	テーマ 内容	コミュニケーションを滑らかにするための技法
	授業外指示	プリントとテキスト第5章を再読し、復習する
第8回	テーマ 内容	教育・保育における相談の理論と方法
	授業外指示	プリントとテキスト第2章を再読し、復習する
第9回	テーマ 内容	相談を受ける者としての心構え
	授業外指示	プリントを再読し、復習する

第10回	テーマ 内容	他者を理解するために必要な自己理解
	授業外指示	プリントとテキスト第4章を再読し、復習する
第11回	テーマ 内容	学修とうたう度の確認・これまでの学びの振り返り・事例検討準備
	授業外指示	テキスト第14章の事例を読み込む
第12回	テーマ 内容	教育相談・保育相談の記録と事例検討
	授業外指示	選んだ事例について、これまでの学びを踏まえて自分の見解をまとめる
第13回	テーマ 内容	教育相談・保育相談の実際
	授業外指示	発表に向けて準備する
第14回	テーマ 内容	事例検討の発表
	授業外指示	発表を振り返る
第15回	テーマ 内容	事例検討の発表とまとめ
	授業外指示	発表を振り返り、授業全体の復習する

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	相談援助	教員氏名	中野陽子
学年	2年	開講学期	後期
授業形態	演習	単位数	1単位
必修・選択	保育士幼免必修		
テーマ	教育・保育の相談援助に必要な基礎的な価値・知識・技術の習得		
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う	○
授業の概要	教員・保育者として必要となる相談援助・教育相談の理論を習得する。また、幼児理解の方法についての理解を深める。さらに、教育・保育相談の基本となる価値・倫理について学ぶ。併せて、コミュニケーション技術の学習と教育・保育相談事例の検討により教育・保育相談実践や幼児理解に生かせるようにする。		
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①教育・保育者として必要な、教育、保育における相談援助の知識を習得できる。 ②教育・保育者に求められるコミュニケーション技術を身に付けることができる。 ③事例検討を通じて、教育、保育における相談援助の実践力を体得することができる。 		
テキスト	『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会 演習・保育と相談援助』第2版 みらい 前田敏雄監修、佐藤伸隆・中西遍彦編集		
参考書	必要に応じ授業内で指示する。		
	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	授業内で指示したワークをポートフォリオに綴ること。		
課題の確認と 成績評価方法	試験50%、授業に取り組む姿勢30%、課題20%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、授業の進め方、幼稚園教諭・保育者が相談援助を学ぶ意義
	授業外指示	教科書第1章を事後学習する。 教科書第2章、第3章を事前学習する。
第2回	テーマ 内容	相談者になるために①(自己理解)
	授業外指示	教科書第4章を事後学習する。 教科書第2章を事前学習する。
第3回	テーマ 内容	相談者になるために②(他者理解)
	授業外指示	教科書第4章を事後学習する。 教科書第2章を事前学習する。
第4回	テーマ 内容	幼児教育・保育における相談の基本①(相談援助の過程)
	授業外指示	教科書第4章を事後、事前学習する。
第5回	テーマ 内容	幼児教育・保育における相談の基本②(相談者としての幼稚園教諭・保育者の役割と視点)
	授業外指示	教科書第2章、第3章を事後学習する。 教科書第4章を事前学習する。
第6回	テーマ 内容	幼児教育・保育における相談の基本③(バイステックの7原則)
	授業外指示	教科書第2章を事後学習する。 教科書第6章を事前学習する。
第7回	テーマ 内容	相談者になるために③(コミュニケーション技法:言語コミュニケーション)
	授業外指示	教科書第6章を事前、事後学習する。
第8回	テーマ 内容	相談者になるために④(コミュニケーション技法:非言語コミュニケーション)
	授業外指示	教科書第6章を事前、事後学習する。
第9回	テーマ 内容	相談者としての心構え(基本的原理)、教育・保育相談の進め方(原則)、教育・保育相談の進め方の 実際①(子育て)
	授業外指示	教科書第6章を事前、事後学習する。

第10回	テーマ 内容	幼児理解(幼児観察法を中心とした理論と方法)、教育・保育相談の進め方の実際②(幼稚園)
	授業外指示	教科書第6章を事前、事後学習する。
第11回	テーマ 内容	教育・保育相談の進め方の実際③(虐待)
	授業外指示	教科書第6章を事後学習する。 教科書第7章を事前学習する。
第12回	テーマ 内容	記録について(記録の書き方)
	授業外指示	教科書第7章を事後学習する。 教科書第13章、第15章を事前学習する。
第13回	テーマ 内容	事例検討
	授業外指示	教科書第13章、15章を事後学習する。 教科書第2章を事前学習する。
第14回	テーマ 内容	相談者になるために⑤(多角的な視点を養う)
	授業外指示	教科書第5章を事後学習する。 事前学習として教科書全てを復習する。
第15回	テーマ 内容	幼児とその家族の相談者としての役割について(まとめ)
	授業外指示	幼稚園教諭・保育士としての相談援助について総括する。